

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8295
担当部課名	保健福祉部	中央保健センター	所	保健指導
事務事業名	健康教育事業	事業コード	12220	

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	1 第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	~63 年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

老人保健法 相模原市成人保健事業実施要綱
-------------------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的 健康寿命の延伸及び青年期の健康度の向上を図るため、市民一人ひとりが「自らの健康は自ら守り高める」ことに着目し、健康に関する正しい知識の普及及び健康に関する認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的とする。	(2) 対象(誰、何) 40歳以上の市民もしくはその家族
	対象数 9,200人
(3) 平成13年度事業の内容 生活習慣病や要介護状態の予防及び健康増進等について、保健師・栄養士・歯科衛生士等がウェルネスさがみはらや公民館等で健康教育を実施した。 ・病態別健康教育 実績32回/延1,333人 ・歯周疾患健康教育 実績5回/延96人 ・介護家族健康教室 実績4回/延43人 ・一般健康教育 実績266回/延6,119人 賃金 85千円 報償費 839千円 需用費 428千円 備品購入費 25千円	(4) 総合計画・実施計画における概要 (総合計画) 保健サービスの充実 ・健康教育の充実 (実施計画) 健康教育の実施、成人・高齢者の健康教育の充実
	(5) 個別計画の概要 計画名 相模原市高齢者保健福祉計画 計画年次 12年度~16年度 生活習慣病の予防、健康増進等健康に関する正しい知識の普及を図るため、集団健康教育を実施する。また、介護に携わる方を対象に介護家族健康教育を実施する。

## 4 評価指標

指標名	開催目標回数の達成率	健康教育事業の満足度
指標式	開催実績回数 / 開催目標回数 × 100	健康教育事業満足者数 / 健康教育事業参加者数 × 100
指標設定の意図	達成率により成果を表す。	満足度により成果を表す。

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	321	323	a 307	b 320	250	
指標	90	90	c 90	d 100	100	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	1,766	628	1,376	1,647	1,998
	人員・時間数	(9.0人)	(9.0人)	(9.0人)	(9.0人)	(8.0人)
	人件費	75,780	75,780	75,780	75,780	67,360
	その他経費	0	0	0	0	0
合計	77,546	76,408	77,156	77,427	69,358	
特定財源	1,170	415	900	1,094	1,332	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか														
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 93.0%												
	B : 一部達成していない(100%> 80%)													
	C : 達成していない (80%> )													
a	307.0	b	320.0	$\times 100 = 95.9\%$	c	90.0	d	100.0	$\times 100 = 90.0\%$	e		f		$\times 100 =$

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A : 適応している	理由：	参加実績が減少傾向の教室など、対象者のニーズにあっていないことが考えられる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由：	参加者の少ない事業については、市民ニーズを的確に把握し、事業展開を行う必要がある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由：	健康志向の高まる中、民間で実際に類似の事業を行っているところもあるようだが、費用的に誰でも参加可能かという難しいと思われる。特に健康維持に関心の低い層への働きかけは代替の可能性は低いと思われる。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由：	アンケートなどから見ると、参加した方の満足度は高い。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由：	高齢化が進む中、生活習慣病等の疾病予防や介護状態になることを未然に予防する視点から、今後も継続する必要がある。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 周知の工夫や、内容の検討により市民のニーズに合った教育を開催するようにする。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 多様化する市民ニーズに対応するため、これ以上のコスト圧縮は困難である。</p>	

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
	<p>今後の進め方</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 完了</p>	
説明		<p>教室については、今後も健康づくりの普及啓発を図りながら事業展開を行っていく。なお、テーマ、内容の検討、周知方法については引き続き創意工夫して取り組んでいく。</p>

8 二次評価における変更点